

いんぎん民報 発行所 いんぎん民報社 平市田町四八番地 電話一七六番

小名商港の完成急ぐ

衆議院国土計畫委員會で 自由黨の關内正一氏質問

二十一日の衆議院国土計畫委員會で自由黨の關内正一氏は「小名商港建設促進問題」について質問を求めたところあり、運輸省運輸局長は「常陸田の石炭積出し港として、又京濱一關等間の津浦港として一日も早く完成させたい」と次の如く答へた。

採炭技術講習會決定

石炭品位向上委員會が主催

石炭品位向上委員會では東部から起り上せようとする内郷町石炭鑛業會並に東北地方商工在任の縣立平工業學校卒業生局卒出張所の後援で、三万五千五百名ほどの一丸となつて採炭技術講習會の向上に先づいて内郷町工友會を組織、講習會並に選炭の技術の向上長に大西三郎君を推して第一歩を踏み出したが、ゆくゆく七日まで採炭技術講習會を成し、母校復興に活潑な活動を展開することになった。

平洋灰瓦工場確定

鎌田町に豫算五十四萬五千圓

六月縣會で豫算化された第一を建設が一ヶ所である。豫算額は五十四萬五千圓で、収容人員は百二十名である。なおこの豫算額には人員は縣の施設中最大のものである。ため確定されずいたところ、この豫算決定をみたが、うち市郡關係では平市鎌田町に九十五坪の平洋灰瓦工場。

母校復興 工友會結成

内郷町平工業學校

戦災に遭つた母校平工業學校を復興させるため、母校復興工友會が結成された。この工友會は、母校復興の推進に力を入れる。母校復興の推進に力を入れる。母校復興の推進に力を入れる。

民報論壇

青刺の悪習を掃せよ

近時青年の間に青刺をすすめる悪風が流行し人目を惹いて、この傾向は益々後進して、青刺の悪習が益々盛んになり、青刺の悪習が益々盛んになり、青刺の悪習が益々盛んになり。

本年内に三萬俵出荷

木炭出荷三阪村との確約なる

ことしの冬こそ市民に奉さるべき木炭の出荷が、本年内に三萬俵出荷するとの確約を得たので、ホクホクとした。年内に三萬俵出荷するとの確約を得たので、ホクホクとした。

新星藥品 圓滿解決

白星會と労働組合

去る五日以来の市内五百間、新星藥品株式會社の労働組合は、労働組合の組織を断行することとを申し出て、労働組合の組織を断行することとを申し出て、労働組合の組織を断行することとを申し出て。

常

理想を現實に向つて 突進する文化の殿堂

理想を現實に向つて、突進する文化の殿堂。理想を現實に向つて、突進する文化の殿堂。理想を現實に向つて、突進する文化の殿堂。

置引捕わる

二十一日午後四時半頃

柄である両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に。

置引捕わる

二十一日午後四時半頃

柄である両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に。

置引捕わる

二十一日午後四時半頃

柄である両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に。

置引捕わる

二十一日午後四時半頃

柄である両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に、両親から聞いた五、六歳の間に。

（田原）

いんぎん

○ヤミ値や下向、これでこそ日本人、いよいよヤミ値や下向、これでこそ日本人、いよいよヤミ値や下向、これでこそ日本人。

登場

十月第一週上映の名畫

十月第一週上映の名畫、登場。十月第一週上映の名畫、登場。十月第一週上映の名畫、登場。

超大作

フオックス

フオックス、超大作。フオックス、超大作。フオックス、超大作。

超大作

フオックス

フオックス、超大作。フオックス、超大作。フオックス、超大作。

超大作

フオックス

フオックス、超大作。フオックス、超大作。フオックス、超大作。

（田原）

